

事業名	生涯・地域スポーツ推進事業費			調書番号	102
細事業名	市町村・社会体育関係団体指導事業費	財務コード	606409		
担当部課室	教育委員会 部	スポーツ健康 課	生涯スポーツ 担当 (内線)	8413	

I 事業の概要

実施期間	始期 (不明) 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(全国都道府県体育・スポーツ・保健・給食主管課長協議会)		
目的	だれ(何)を対象に 市町村・社会体育関係団体の指導者	その対象をどのような状態にして 関東・全国規模の研修会の内容等、必要な情報を得ることができている。	結果、何に結びつけるのか 各市町村の地域の実態に即したスポーツの振興。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○全国・関東規模の研修会等への参加実績 <ul style="list-style-type: none"> ・関東スポーツ推進委員研究大会 墨田区 ・全国スポーツ推進委員研究協議会 鹿児島市 ・生涯スポーツ・体力づくり全国会議 徳島市 ○本県における研修会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村担当者会議(年3回) ・スポーツ推進委員協議会各地区巡回(初任者)研修会(県内9カ所 年1回) ・スポーツ推進委員研修会(年2回) ・スポーツ振興ブロック会議(県内4カ所 年1回) ・総合型地域スポーツクラブ連絡協議会(年2回) 		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度
活動指標	関東・全国規模の研修会等への参加者数	目標	8	8	6	6	6	6
		実績(見込)	8	8	6	6	6	6
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標	本県での各種研修会・研究協議会等の延べ参加者数 H30,R1は中止の研修会あり。	目標	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
		実績(見込)	1,393	1,392	1,585	1,504	1,123	1,025
		達成率	126.6	126.5	93.5	136.7	102.1	93.1
		達成区分	a	a	b	a	b	b
決算(予算) 単位:千円				100	100	15	90	50

III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	評価	各市町村の実態に即したスポーツ振興を図るため、全国・関東地区の動向や取組など必要な情報を伝達してきた。平成30年度はスポーツ推進委員協議会研修スポーツ大会が雨天中止となったが、年間19回の会議、研修会において、1123人の参加が得られ、意図した成果をあげている。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

関係との必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (次のとおり)		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	各地域や各団体に最新の情報や指導法を伝達することによって、スポーツ推進を県民の隅々まで広げることができる。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()		
その他	説明	本事業は、全国・関東規模の研修会へ職員を派遣し、そこで得られた成果を県内のスポーツ指導者へ還元するという仕組みであり、事業の組み立て上はこれ以上見直しや工夫の余地がない。		
見直しの必要性	無	全国・関東規模の研修会の内容や情報を、多くの指導者が参加する研修会等において伝達できており、その成果は十分であるため見直しの必要性はない。		

V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがなければ「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。